

報道記者発表資料 朝 来 市	提出日	令和 7 年 2 月 6 日
	問合せ先	担当部署：都市整備部 建設課
		電話：079-672-6126（直通）
担当者	課長：野中昭義	
	担当：田中 諒	

件名	全国初「デジタルデバイスを活用した通学路における交通安全対策」 ～ 実 証 実 験 中 ～
----	--

これまで通学中の子どもたちを守るため、交通事故を未然に防ぐ「事前予防型」の交通安全対策に取り組んでおり、令和4年度「ひょうご TECH イノベーションプロジェクト」によって、実際にまちを走るクルマのプローブデータを分析して「スピードが速い」「急ブレーキが多い」といった、通学路における危険箇所を抽出し、現在「ヒヤリハットマップ あさご」として、公開型GISシステムによる一般公開をしています。また、令和6年度には、国土交通省の「ワンコイン浸水センサ実証実験」を活用して、通学路の冠水や水路の増水を自動的に小中学校や高校に通知するシステムの運用を開始しています。しかし、通学路を走行するドライバーや歩行者などに、潜在する危険箇所を直接伝える手段が不足していることから、センサや通信装置、LED表示板などを利用した実証実験を行っています。

- 事業名 ひょうご TECH イノベーションプロジェクト
- 事業主体 兵庫県 URL:<https://hyogo-tech.jp/>
- 事業概要 県内の地域課題や行政課題に対して、技術やノウハウを持った民間事業者から解決策を広く募集 選定した実証プロジェクトに対して実証費用の一部を負担
- 課題名 「データを使って通学路に潜む危険をドライバーに知らせたい！」
- 協働実証者 イーマキーナ株式会社（神戸市）×朝日航洋株式会社（東京都）× 朝来市
- 実証内容 【新システム】通学路の危険区間（平均速度が速い・幅員狭小など）の前後にセンサを設置することで、走行するクルマや歩行者を識別検知し、センサと通信接続させたLED表示板を利用して、対向するクルマや歩行者に対して注意喚起を行う。
- 機器設置箇所 朝来市和田山町土田～宮田地内（大蔵小学校区内通学路）
- 機器設置日 令和7年1月28日（火）



- 問い合わせ先 朝来市 都市整備部 建設課 電話:079-672-6126(直) FAX:079-672-3440
E-mail:kensetsu@city.asago.lg.jp
- 添付資料 システムイメージ図・ヒヤリハットマップあさご・現況写真・位置図

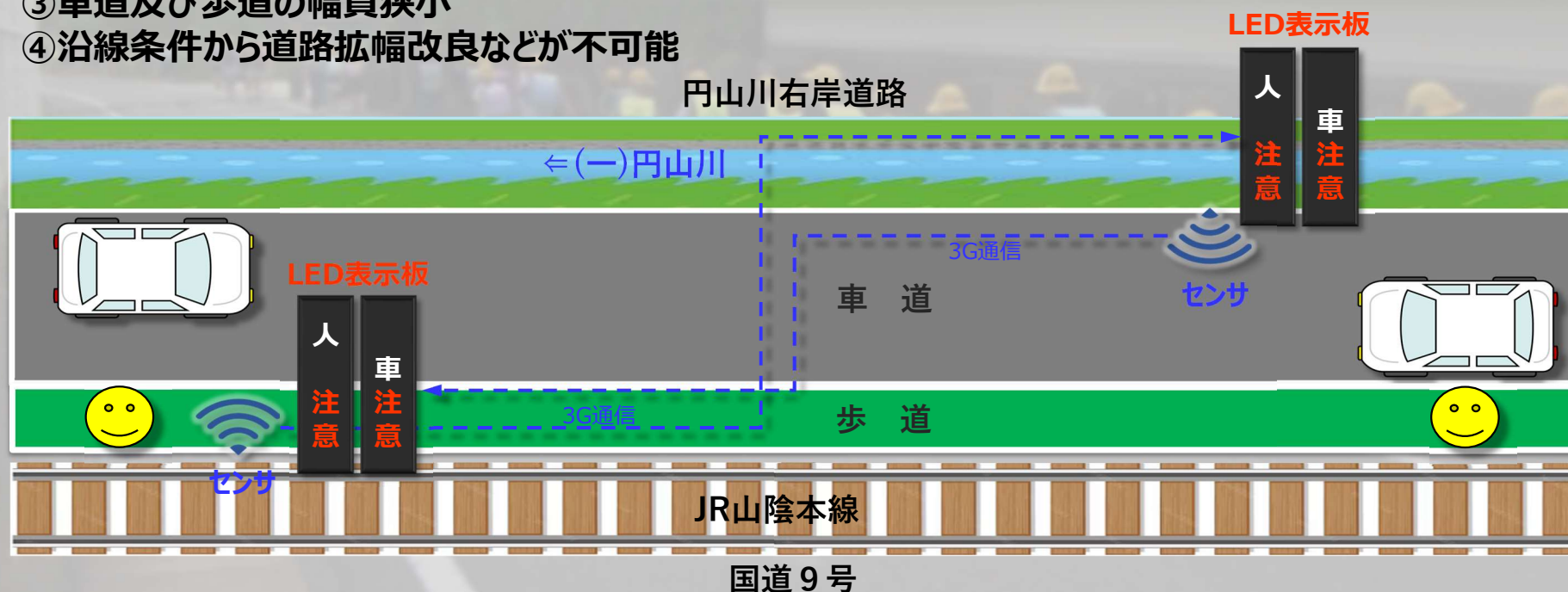
【新システム】～デジタルデバイスを活用した通学路における交通安全対策～

【実証実験中】

自動車・歩行者検知告知システム（仮称）



- ①「ヒヤリハット！マップ あさご」から検出された通学路の危険箇所
- ②通勤・通学時間帯に並行する幹線道路が混雑することから**通り抜け**車両が多い
- ③車道及び歩道の幅員狭小
- ④沿線条件から道路拡幅改良などが不可能



【センサ クルマ or 歩行者 識別検知】 ⇒ 【LED表示板 注意喚起】

※LED表示板には小学1年から3年までに習う漢字「人・車・注意」を使用している。

【新システム】～デジタルデバイスを活用した通学路における交通安全対策～

【ヒヤリ・ハッとマップ あさご】

ヒヤリハッとマップあさご



【新システム】～デジタルデバイスを活用した通学路における交通安全対策～

【位置図】

